



広 報 資 料

平成30年1月10日
午後4時30分発表

問い合わせ先

第一管区海上保安本部 海洋情報部

海洋調査課長 霜鳥 史郎

TEL 0134-27-0118 (内線2530)

冬の使者「流氷」が紋別沖に接近

第一管区海上保安本部 海氷情報センターでは、本日、航空機による海氷観測を実施し、オホーツク海を南下中の海氷が、網走の北方約45kmまで接近していることを確認しました。

1 海氷観測の日時・方法

観測日時：平成30年1月10日 11時03分～12時51分

観測方法：千歳航空基地所属 ボンバル300型航空機 (MA723、

愛称：おおわし 機長：金澤 英史) による海氷目視観測

2 海氷分布状況

オホーツク海を南下中の海氷は、1月10日12時現在、網走の北方約45kmまで接近しています。その南端付近の氷は、小板氷と砕け氷、はす葉氷(※)が多く見られました。

上記位置付近における海氷南下の確認は、昨年と比べ3日程度遅く、一昨年と比べると17日程度早い状況です。

なお、海氷分布状況は、今後の風や海流の影響により大きく変化することもありますので、付近を航行する際には、十分に注意して頂くようお願いいたします。

(※)氷の種類

小板氷(C s)	直径が2mより小さい板氷
砕け氷(B r)	様々な形に砕けた氷片(直径2m以下)が集まっているもの
はす葉氷(P)	縁がまくれ上がったほぼ円形の氷塊、直径30cm～3m

3 ホームページによる情報提供

今回の航空機による観測結果は別図のとおりです。今後、同様の観測を行った際には海氷情報センターのホームページに随時掲載してまいります。

また、衛星画像等から解析した海氷の分布状況を「海氷速報」として毎日提供していますのでご利用下さい。(午後5時頃更新)

海氷情報センターホームページ

URL <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/lcenter.html>

検索サイトから、キーワード「海氷情報センター」で検索

